

《担当者名》堂徳 将人（非）

【概要】

科目「公共」の内容を踏まえた上で、倫理の「現代に生きる自己の課題」「人間としての在り方・生き方」「現代と倫理」、政治・経済の「現代の政治」「現代の経済」「現代社会の諸課題」について学ぶ。

【学修目標】

公民科における科目「倫理」、「政治・経済」の内容について、理解する。青年期における自己形成と人間としての在り方・生き方について深く理解する。また、基本的人権と民主主義を尊重・養護することの意義や政治の基本的な事項について深く理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	公共の内容について	自立した主体として社会参画する主権者を育む	堂徳
2	倫理の科目の性格と目標について	倫理的な見方・考え方、公共的な空間と倫理	堂徳
3	青年期の課題と自己形成について	青年期の人間としての在り方生き方の探究	堂徳
4	人間としての自覚について	先哲の思想、宗教、哲学などとの対話と探究	堂徳
5	国際社会を生きる日本人の自覚について	グローバル化等の進展と倫理的な課題	堂徳
6	現代社会を生きる人間の倫理について(1)	人間尊重、民主社会の倫理、新たな人間像の模索	堂徳
7	現代社会を生きる人間の倫理について(2)	自然や科学技術と人間との係わり、社会の成熟	堂徳
8	現代の倫理的な課題について	科学・通信技術等の進展と倫理的な課題	堂徳
9	政治・経済の性格と目標について	政治・経済の見方・考え方と探究	堂徳
10	現代の政治について(1)	日本国憲法の基本原理、政治機構	堂徳
11	現代の政治について(2)	現代政治の特質と課題、現代の国際政治	堂徳
12	現代の経済について(1)	現代の資本主義経済、現代経済のしくみ、産業構造の変化	堂徳
13	現代の経済について(2)	福祉社会と日本経済の課題、国民経済と国際経済	堂徳
14	現代社会の諸課題について(1)	日本社会の諸課題	堂徳
15	現代社会の諸課題について(2)	国際社会の諸課題	堂徳

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（100％）

【教科書】

「高等学校学習指導要領解説 公民編」（最新版）
 高等学校教科用図書「倫理」（東京書籍）
 高等学校教科用図書「政治・経済」（東京書籍）

【参考書】

「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示 文部科学省）
 高等学校教科用図書「公共」
 堂徳将人著『公民教育の新展開』（学事出版）

【学修の準備】

学修にあたっては、毎時間に指示する課題を予習・復習し、受講すること。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「教科及び教科の指導法に関する科目」の「教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目」に該当する。

【実務経験】

道立高等学校地歴・公民科教諭、北海道立教育研究所室長・北海道教育委員会公民科担当指導主事、道立高等学校校長など

【実務経験を活かした教育内容】

高等学校における公民科教育に携わってきた経験を活かし、公民科教育の現状と課題を踏まえ、教員としての実践的な指導に必要な資質・能力の育成を目指した指導を行う。特に、「公民」における今日的な課題としての「総合」や「探究」について、理論と実践を往還させながら考察を深める。